

私学助成署名推進ニュース

全国私立学校教職員組合連合
No.29 2018年12月11日(火)

12・7 学費の公私間格差・自治体間格差是正を求める院内集会 その1

院内集会史上最多の本人議員を前に380万筆を超える署名集約を発表!!

12.7 院内集会ご参加の国会議員のみなさん

本人出席議員のみなさん				代理出席議員のみなさん				
お名前	選出	院	会	No	お名前	選出	院	会
今枝宗一郎議員	愛知	衆	自	1	平野達男議員	岩手	参	自
浅野 哲議員	比例北関東	衆	民	2	西村康稔議員	兵庫	衆	自
矢上雅義議員	比例九州	衆	立	3	麻生太郎議員	福岡	衆	自
玉木雄一郎議員	香川	衆	民	4	吉良よし子議員	東京	参	共
小川淳也議員	比例四国	衆	無	5	井上哲士議員	比例	参	共
赤松広隆議員	愛知	衆	立	6	原口一博議員	佐賀	衆	民
★ 根本幸典議員	愛知	衆	自	7	金子恭之議員	熊本	衆	自
山内康一議員	比例九州	衆	立	8	西田実仁議員	埼玉	衆	公
松田功議員	比例東海	衆	立	9	池田佳隆議員	愛知	衆	自
田村貴昭議員	比例九州	衆	共	10	宮本徹議員	比例東京	衆	共
★ 吉川元議員	比例九州	衆	社	11	木原稔議員	熊本	衆	自
安藤裕議員	京都	衆	自	12	笠井亮議員	比例東京	衆	共
北村誠吾議員	長崎	衆	自	13	藺浦健太郎議員	千葉	衆	自
木村次郎議員	青森	衆	自	14	舟山康江議員	山形	参	無
西村智奈美議員	新潟	衆	立	15	伊藤涉議員	比例東海	衆	公
牧原秀樹議員	比例北関東	衆	自	16	前原誠司議員	京都	衆	民
★ 大見正議員	比例東海	衆	自	17	津島淳議員	青森	衆	自
木村やよい議員	比例近畿	衆	自	18	大野敬太郎議員	香川	衆	自
左藤章議員	大阪	衆	自	19	磯崎仁彦議員	香川	参	自
西岡秀子議員	長崎	衆	民	20	猪口邦子議員	千葉	参	自
階猛議員	岩手	衆	民	21	黒岩宇洋議員	新潟	衆	無
大西健介議員	愛知	衆	民	22	菊田真紀子議員	新潟	衆	無
繁本護議員	比例近畿	衆	自	23	倉林明子議員	京都	参	共
★ 畑野君枝議員	比例南関東	衆	共	24	古賀友一郎議員	長崎	参	自
長尾秀樹議員	比例近畿	衆	立	25	長浜博行議員	千葉	参	無
伊藤俊輔議員	比例東京	衆	民	26	大沼みずほ議員	山形	参	自
★ 牧義夫議員	比例東海	衆	民	27	佐々木紀議員	石川	衆	自
近藤昭一議員	愛知	衆	立	28	大塚耕平議員	愛知	参	民
田中英之議員	京都	衆	自	29	田村智子議員	比例	参	共
大西宏幸議員	大阪	衆	自	30	松村祥史議員	熊本	参	自
本村伸子議員	比例東海	衆	共	31	山尾志桜里議員	愛知	衆	立
佐藤公治議員	広島	衆	無	32	山下芳生議員	比例	参	共
尾辻かな子議員	比例近畿	衆	立	33	木戸口英司議員	岩手	参	由
森山浩行議員	比例近畿	衆	立	34	高鳥修一議員	新潟	衆	自
荒井聡議員	北海道	衆	立	35	滝沢求議員	青森	参	自
中山泰秀議員	大阪	衆	自	36	船橋利実議員	比例北海道	衆	自
重徳和彦議員	愛知	衆	無	37	斎藤嘉隆議員	愛知	参	立
関健一郎議員	比例東海	衆	民	38	坂本哲志議員	熊本	衆	自
三ツ林裕巳議員	埼玉	衆	自	39	三原朝彦議員	福岡	衆	自
宮川伸議員	比例南関東	衆	立	40	長尾敬議員	大阪	衆	自
田中和徳議員	神奈川	衆	自	41	野田国義議員	福岡	参	立
				42	山添拓議員	東京	参	共
				43	石川昭政議員	茨城	衆	自
				44	小林史明議員	広島	衆	自
				45	小池晃議員	比例	参	共
				46	神田憲次議員	比例東海	衆	自
				47	矢田わか子議員	比例	参	民
				48	古賀之土議員	福岡	参	民
				49	佐々木隆博議員	北海道	衆	立
				50	伊藤孝忠議員	愛知	参	民
				51	志位和夫議員	比例南関東	衆	共
				52	泉健太議員	京都	衆	民
				53	高橋千鶴子議員	比例東北	衆	共

※ 受付ご到着順で表記
※ 本人出席＝41名
※ 代理出席＝53名

議員関係 94名の参加

	本	代	計
自民	15	24	39
立憲民主	11	4	15
国民民主	8	7	15
公明	0	2	2
共産	3	11	14
維新	0	0	0
自由	0	1	1
希望の党	0	0	0
社民	1	0	1
日本のこころ	0	0	0
沖縄大衆	0	0	0
無	3	4	7
計	41	53	94
会派数			8

ご本人・代理ともに参加
階猛議員 民
佐藤公治議員 無
三ツ林裕巳議員 自
田村貴昭議員 共

12月7日(金)東京都千代田区永田町の衆議院第一議員会館を会場に「12・7 学費の公私間格差・自治体間格差是正を求める院内集会」が開催されました。入管法の採決が強行されるかどうかの参議院本会議と並行した開催でしたが、会場の大会議室を満杯にする全国からの参加者で過去最高数の国会議員を迎え、この日までに集約した署名数を国会議員に知らせる集会となりました。

**本人41人(過去最多),
代理53人計94人の
国会議員関係者が参加!**



全国の私学関係者が、私学の学費問題を改善するために多忙な中奮闘している私学助成全国署名。国の予算編成に向け、その集約数を国会議員に知らせ予算増への力添えを求める私学助成集約院内集会。入管法の強行成立をかけて参議院本会議が開かれる中での開催でしたが、全国のみなさんの議員との関係づくりが実を結び、衆議院議員ご本人参加41名をはじめとした94名の議員関係者の参加を得、議員にこの日までの集約数 **3,819,575** 筆を報告することができました。



私学の学費実態を訴え、国向け署名の紹介議員を引き受けていただくこと、議員会館事務所訪問も位置づけた参加者が、全国から259名(父母158名、教職員91名、高校生10名)参加。大会議室を満杯にして、国会議員を迎えました。

子どもたちの学ぶ権利を守る熱気に満ちた集会となりました。

**どこに生まれても
学ぶ権利は同様に保障を!!** (主催者あいさつ)

集会は全国私学助成をすすめる会共同代表の三宅さんの主催者あいさつでスタートしました。「就学支援金制度のおかげで、私立高校へ通えるようになった子どもが増えました。それに加えて京都には『あんしん修学支援制度』があり、大阪も年収900万までほぼ学費負担無く私学へ通えます。けれどもそうでない県が全国にはたくさんあります。どこに生まれても子どもたちが安心して学ぶことができるよう、国会議員の先生方のお力添えをお願いします。」と全国の私学に子どもを通わせる保護者の思いを訴えられました。



同じく共同代表の永島さんは資料用いながら、就学支援金と都道府県の授業料減免制度が、私立高校を選択する幅を広げたことを紹介した上で、「“私立小中学生等への就学支援実証事業”において、課税証明だけでなく保有資産調査が行われ申請者が激減した。こうしたプライバシーを侵すような調査は支援とはいえない。」と指摘。そのうえで「国の支援は家計状況を問わず、すべての子どもたちへの支援となるよう拡充してほしい」と要望を述べました。

(つづく)